

○平成30年度 妊娠・出産・子育てに関する知識を普及するセミナー開催実績

開催大学	日程	参加者数※	講師
①敬愛大学	6/25(月)	107人	武蔵野大学看護学部看護学科 教授 坂上 明子 氏
②和洋女子大学	7/9(月)	265人	
③昭和学院短期大学	9/22(土)	302人	
④帝京平成大学	10/4(木)	116人	川島助産院 院長 川島 広江 氏
⑤神田外語大学	12/6(木)	53人	
⑥城西国際大学	12/10(月)	266人	
⑦川村学園女子大学	12/18(火)	59人	武蔵野大学看護学部看護学科 教授 坂上 明子 氏
⑧帝京平成大学	12/19(水)	18人	川島助産院 院長 川島 広江 氏
合 計		1,186人	

※参加人数は、アンケート回収人数

○平成30年度 妊娠・出産に関する正しい知識を普及するためのセミナー
講義アンケート結果

1 講演内容を理解できたか。

「理解できた」が60%、「だいたい理解ができた」が37%であり、97%の受講者が、講演内容を理解できたと回答した。

2 講演内容は役に立つか。

「非常に役に立つ」が59%、「役に立つ」が39%であり、98%の受講者が講演を役に立つと回答した。

3 講演内容が自身の人生設計を考える契機となったか。

将来の人生設計を考えていなかったと回答した受講者のうち、62%の受講者が「なる」と回答した。

○具体的な意見（一部のみ掲載しています）

- ・まだ若いからという理由で子供を持つことについて深く考えたことはなかったが、早いうちから考えることが大切なのだと感じ、考えようと思う良いきっかけになった。
- ・将来のことについて最近少しずつ考えるようになりましたが、明確なビジョンが特になかったので、今回の講演を聞いて少し考えが変わってきました。また、正しい知識を教わることができる貴重な時間でした。
- ・出産・育児を健康に過ごすためには、妊娠期またはその前からの生活や人生計画を持つことが大切であるとわかった。
- ・女性の大変さを知るとともに、偉大さを知った。将来、もしも子供ができたときに最大限のサポートをしてあげたいと思った。
- ・母子ともに、妊娠・出産はリスクを伴うことが理解できたので、自分は支えられる人間になりたいと改めて思った。